

2019年柳汀会総会第2部は、昭和47年附中・50年附高卒業学年が担当しました。

今回は、当学年同窓生によるミニコンサートと講演会の企画です。

コンサートは、奈良混声合唱団の理事長でソプラノソリストの西上隆子さんとピアニストとして活躍している入江知子さんをお願いをしました。



「アヴェ・マリア (カッチーニ)」「からたちの花」「Stand Alone」の3曲を独唱。

今も大好きな音楽を続けることが出来るその出発点となった母校で、当時の思い出の曲、恩師のリクエスト曲、そして多数参加いただいた新入会員への祝福と、明後日に迎える新時代「令和」への希望を込めた選曲です。

母校に美しいピアノの音色と歌声が響くひとときとなりました。

続いて、大阪商業大学教授の東山明子さんが、「アスリートを支える」をメンタルで支える」と題して講演を行いました。



東山さんは長年、心理検査法の「内田クレペリン法」を研究しています。この検査は、採用試験や企業の人材配置、また学校の生徒指導などに

幅広く活用されていて、私たちにも身近なものです。特に東山さんは、今注目のスポーツメンタルトレーナーとして、大学や企業のクラブで、この検査法を用い、個々のアスリートの特性によってパフォーマンスが最大限に発揮出来るようメンタルサポートを行い、数々の成果を上げてきました。

そのような実践の紹介を交えて、検査方法の概要、検査でわかる人間特性を踏まえたサポート方法等をわかりやすく説明してくれました。

関心の高い内容と話術で、同窓生、新入会員、母校の先生方も熱心に聞いていただき、気がつけば予定の時間が近づきましたが、流石時間内でまとめ無事終了しました。

これからも、担当学年の方が工夫を凝らした企画を発表されることと思います。大変楽しみです。

以上担当学年幹事からの報告とさせていただきます。



<総会後の食事会の様子>